

令和7年度・学校評価児童アンケート結果について

1. 回答数

294名中、279名分の回答がありました。

2. 集計結果の分析

A:十分できている（十分している） B:おおむねできている（おおむねしている）
C:あまりできていない（あまりしていない） D:全くできていない（全くしていない）

※指数は、Aを4点、Bを3点、Cを2点、Dを1点として回答者数を乗じて、A、B、C、Dの回答者の合計から平均点を求めたものである。

指数の最大値は4、中央値は2.5である。

ちなみに、おおむね

A、Bの回答数が80%、C、Dの回答数が20%の時、指数は3.1（ $3.5 \times 0.8 + 1.5 \times 0.2$ ）

A、Bの回答数が90%、C、Dの回答数が10%の時、指数は3.3（ $3.5 \times 0.9 + 1.5 \times 0.1$ ）

となる。

3. 分析

評価は、「学習」「生活」「健康安全」「教育相談」の4つのカテゴリで実施し、質問は18項目としました。集計結果では、A、B、C、Dの回答者の回答を点数化した指数で見ると項目中16項目が3.1以上、そのうち12項目が3.3以上の評価で、昨年度と比べると若干指数は下がっているものの、全体的には概ね良好な結果となりました。

「学習」

質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7 指数	R6 指数
1 先生は、みんながわかりやすいよう工夫して授業をしていますか。	66.3%	28.3%	4.3%	1.1%	3.6	3.6
2 先生は一人一人にわからないところをわかるように教えていますか。	55.6%	33.3%	10.0%	1.1%	3.4	3.5
3 授業の内容はわかりますか。	50.5%	38.0%	9.0%	2.5%	3.4	3.5
4 自分から進んで学習に取り組んでいますか。	36.9%	42.3%	15.8%	5.0%	3.1	3.2
5 自分から進んで本を読んでいますか。	39.8%	25.4%	23.3%	11.5%	2.9	3.1
6 外国語の授業に進んで取り組んでいますか。	49.1%	35.1%	12.9%	2.9%	3.3	3.4
7 タブレットを上手に使う学習に取り組んでいますか。	66.7%	26.9%	3.9%	2.5%	3.6	3.6
8 ゲストティーチャーによる学習など、体験的な学習活動に進んで取り組むことができているですか。	49.1%	43.0%	5.4%	2.5%	3.4	3.5
9 道徳の授業で学んだことを生活で活かすことができますか	46.6%	38.7%	12.5%	2.2%	3.3	3.3

「学習」に関しては、ほとんどの設問で80%以上の肯定的な評価となりました。特に設問1「先生は、みんながわかりやすいよう工夫して授業をしていますか。」で、3.6と高い評価となっています。子供たちは、概ね授業について満足しているようです。また、設問7「タブレットを上手に使う学習に取り組んでいますか。」についても、指数3.6と高い評価となっています。子供たちは、タブレットを活用した学習が進められていると感じているようです。その反面、設問5「自分から進んで本を読んでいますか。」は、他の設問に比べ低い評価となりました。これは学級差もありますが、高学年になるにつれ肯定的な評価が低くなる傾向となっていました。今後、図書の時間を充実するとともに、学習内でも関連する書籍などを紹介する、委員会活動の充実を図りより積極的に図書室を利用するなど、本と親しむ機会を意図的に増やしていきます。

「生活」

質問事項		A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7 指数	R6 指数
10	楽しく安心して学校生活を過ごしていますか。	61.3%	30.1%	6.5%	2.2%	3.5	3.5
11	先生や友達に自分からあいさつをしていますか。	47.0%	33.0%	15.8%	4.3%	3.2	3.3
12	友達と仲良く協力して活動していますか。	59.9%	34.4%	3.9%	1.8%	3.5	3.6
13	わんぱく活動では、楽しく活動することができますか。	68.8%	23.7%	6.1%	1.4%	3.6	3.7

「生活」に関しては、4項目とも指数3.2以上と高い評価となっています。子供たちは、概ね学校生活や友達関係について満足しているようです。特に、本校の特色であるわんぱく活動に関しては、指数3.6と非常に高い評価となっており、わんぱく活動通した異学年交流は、子供たちにとって良い影響を与えていると推察できます。挨拶については、校内だけでなく登下校時の見守りの方、スクールガードの方などお世話になっている方々にも積極的に挨拶ができるように、また、相手のことを考えた言葉遣いや行動、態度についても各学年の発達段階に応じた指導に努めます。

「健康安全」

質問事項		A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7 指数	R6 指数
14	休み時間など進んで体を動かしていますか。	47.3%	25.8%	17.6%	9.3%	3.1	3.3
15	健康や安全に気をつけて生活していますか。	55.9%	32.6%	8.6%	2.9%	3.4	3.6
16	給食を残さずしっかりと食べることができますか。	43.4%	25.1%	22.2%	9.3%	3.0	3.1

「健康安全」に関しては、3項目中2項目が、指数3.1以上と高い評価となっています。設問14「休み時間など進んで体を動かしていますか。」について、昨年度より0.2ポイント下がっており、進んで体を動かしていないと感じている子ども若干います。昼休みを活用した運動遊びなど体を動かす機会を積極的に設け、多くの子供たちが主体的に体を動かされるよう努めていきます。また、設問15「健康や安全に気をつけて生活していますか。」については、指数は高いものの昨年度より0.2ポイント下がってしまいました。健康・安全は学校生活の基本となるものです。しっかりと指導することで、子供たちの意識の向上に努めていきます。設問16「給食を残さずしっかりと食べることができますか。」は、約70%の子供たちが「残さずしっかりと食べている」と回答していますが、概ね低学年は給食を時間内に食べきれずに残す傾向が多くなり、肯定的な評価が低くなっていました。給食の時間を確実に確保していくとともに、食育もさらに推進させ、子供たちのよりよい健康状態を目指していきます。

「教育相談」

質問事項		A 十分できている (十分にしている)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7 指数	R6 指数
17	カウンセラーの先生を知っていますか。	36.2%	26.2%	20.4%	17.2%	2.8	2.9
18	困ったときに相談できる、先生やカウンセラーの先生はいますか。	45.2%	29.0%	12.5%	13.3%	3.1	3.3

「教育相談」に関しては、設問17「カウンセラーの先生を知っていますか。」について、他の設問に比べかなり低い評価となっています。スクールカウンセラーの存在は知っているも「相談したことがないので、よくわからない」という理由でC・Dと回答した子供がいると考えられます。設問18に関しては、昨年度と比べて指数が0.2ポイント下がっています。相談体制については、悩み事相談箱の周知やスクールカウンセラーだよりの紹介などを行い、子供たちが相談しやすい環境作りに、一層取り組んでいきます。さらに、小さな変化も見逃さないよう児童一人一人をしっかりと見取り、教員から進んで声をかけるなど児童の困り感をいち早くつかめるよう取り組んでいきます。